

第 191 号 内容紹介

1 , 声明「アメリカによるイラン攻撃を非難する」

トランプ政権の本性を露わにした暴挙。ガザのジェノサイドとともにイスラエルを擁護する G7 の対応を批判、アメリカ・イスラエルを孤立させる行動を呼びかける。

2 , パグウォッシュ会議によるイスラエル非難声明

攻撃開始の直後に、世界の科学者を結集して核兵器廃絶をめざして活動する団体が、原子力施設への一方的な先制攻撃の危険性を世界に訴え。

3 , A・ハイダル「イランが築いた新しい抑止ルール」

戦争は、双方に大きな犠牲をともなったが、イランによる抵抗と自衛反撃によって、新たな状況が生まれた。シリアの政治家による状況分析。

4 , M・イブラヒム「イランはなぜ戦争で強くなったのか」

イランでは国民の結束と抵抗意識が強化され、地域の解放運動にも影響をあたえている。その強さの根源には何があるのか。リビアのカダフィ政権元幹部による分析。

5 , T・メイサン「トランプの欧州離脱に EU はどう対応するか」

アメリカ軍がいなければ、欧州の軍は何の役にもたたないという現実を突きつけられた。トランプにこびを売りながら、必死の模索を続ける欧州の指導者たちをフランスのジャーナリストが解説。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoon.a 愛用紹介 r.jp\)](https://livedoon.aala-news.jp/))